

25	オリンピック・パラリンピック準備局	障害者スポーツの振興
事業概要	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」（平成24年3月策定）に基づき、障害のある人もない人も、誰もがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を目指して、地域での環境整備を重点に据えながら、障害者スポーツの情報発信・普及啓発や障害者スポーツへの取組体制の強化も着実に促進するとともに、東京2020パラリンピックに向け、競技団体の基盤強化や選手の競技力向上策に取り組んでいる。</p>	
これまでの経過	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」に基づき、以下の「3つの視点」により事業を実施してきた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 障害者スポーツを広め、障害のある人に対するスポーツ活動への円滑な導入を促進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 都内の障害者スポーツイベント情報や、公共スポーツ施設のバリアフリー情報等を掲載した障害者スポーツ専門ポータルサイト「TOKYO障スポ・ナビ」を運営 (2) 障害のある人もない人も共に楽しめる参加体験型スポーツイベント「チャレスポ！TOKYO」の開催 (3) 障害者スポーツの躍動感あふれる映像や、障害者アスリートのインタビューなど、障害者スポーツの魅力を伝える映像「Be The HERO」を配布 2 障害のある人が地域でスポーツ活動を継続できる環境を整備 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「地域開拓推進事業」により、障害者スポーツ事業の企画・実施に関する相談や助言、障がい者スポーツ指導員の派遣、スポーツ用具の貸与を通じ、区市町村や地域スポーツクラブ等の取組を支援 (2) 区市町村が主体的に取り組む障害者スポーツ事業の支援をすることにより、身近な地域で継続的にスポーツを楽しめる環境を拡大・整備 (3) 障害のある人のスポーツ施設利用に際して、施設管理者が配慮すべき点等をまとめた「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」を配布 (4) 「障害者スポーツコンシェルジュ」を設置し、障害者スポーツの支援に取り組む企業と競技団体や選手をつなぐ取組を実施 (5) 「障害者スポーツの環境整備に向けた実務者会議」を設置し、障害者スポーツの環境整備に向けた連絡・調整を図るとともに諸課題について検討・協議 (6) 「都立学校活用促進モデル事業」により、障害のある方や障害者スポーツ競技団体等が、身近な地域でスポーツ活動ができるよう、都内にある都立特別支援学校の体育施設を学校教育活動に支障のない平日夜間や土日祝日の時間帯に貸出すとともに、障害の有無に関わらず個人で参加が可能な、障害者スポーツをはじめとするスポーツやレクリエーションの体験教室を実施 (7) 区市町村職員やスポーツ推進委員等を対象にセミナーを開催し、地域の障害者スポーツ事業を支える人材を育成 (8) 障がい者スポーツ指導員養成講習会を通じて障害者スポーツの現場で実際に指導・支援にあたる人材を養成し、地域における障害者スポーツの取組を促進 (9) 区市町村等が実施する障害者スポーツ事業の情報を収集し、障がい者スポーツ指導員等に対して、情報誌『S&S』として定期的に情報提供を行うほか、活動経験が少ない、又は活動にブランクがある指導員等を対象とした「リ・スタート研修会」及び障がい者スポーツ指導員等が一堂に会する「障害者スポーツフォーラム」を開催し、障害者スポーツを支える人材の活動活性化を促進 	

	<p>3 障害者スポーツへの取組体制を強化</p> <p>(1) パラリンピック等の国際舞台で活躍する障害者アスリートを輩出するため、「パラリンピック選手発掘プログラム」を実施</p> <p>(2) 東京 2020 大会等への出場が期待される選手を「東京アスリート認定選手」として認定し、競技活動の費用負担軽減のための支援を行うとともに、選手をホームページ等で紹介し、応援気運の醸成を推進</p> <p>(3) 障害者スポーツの試合機会の増加により、選手の競技力向上及び競技団体の大会運営能力向上を図るため、競技団体が主催する IF 等の国際公認大会の開催を支援</p> <p>(4) 全国障害者スポーツ大会での東京都選手の活躍を目標に、大会正式競技の強化練習会を開催し、選手の競技力を強化</p> <p>(5) 東京都障害者スポーツ大会を実施すると共に、東京都障害者スポーツ大会・関東ブロック予選会等を経て選出された選手や役員で構成される選手団を、全国障害者スポーツ大会へ派遣</p>		
現在の進行状況	<p>「東京都障害者スポーツ振興計画」に基づき、引き続き上記の事業を着実に実施するとともに、新たに以下の事業に取り組んでいる。</p> <p>1 障害者スポーツ観戦を促進</p> <p>障害者スポーツの認知度を飛躍的に向上させ、2020 年以降も継続して社会に根付く土壌を作るため、テレビ等のメディアも活用し、障害者スポーツ観戦を促すための総合的な普及啓発事業を実施している。具体的には、障害者スポーツファンサイト「TEAM BEYOND」を開設し、大会情報の発信や、メンバーが参加できる障害者スポーツに関連したイベントを行っている。</p> <p>2 障害のある人が地域でスポーツ活動を継続できる環境を整備</p> <p>建設から 30 年近くが経過し、施設の老朽化が著しい東京都障害者総合スポーツセンター及び東京都多摩障害者スポーツセンターについて、劣化診断結果や利用者ニーズ等を踏まえ、東京都障害者総合スポーツセンターは現在改修工事を行っており、東京都多摩障害者スポーツセンターについては今年度末より改修工事に着手する予定である。なお、東京都多摩障害者スポーツセンターの改修工事期間中については、味の素スタジアム内の室内施設を代替施設として運営する予定である。</p> <p>3 障害者スポーツへの取組体制を強化</p> <p>競技歴は比較的浅いが、今後の成長が見込まれる選手を対象に、共通プログラムや競技別プログラムを実施し、「障害者アスリートの育成」を図る。</p> <p>障害者スポーツ団体の運営基盤強化を図り、もって競技力向上につなげるため、ビジネススキルや専門知識を有した企業人等のボランティア活動である「プロボノ」を活用し、団体が抱える課題の解決を行う。</p>		
今後の見通し	<p>2020 年東京パラリンピック大会と 2020 年後のレガシーを見据え、障害者スポーツ振興をより一層加速させるため、障害者スポーツの情報発信・普及啓発、場の整備や人材育成に取り組んでいく。</p> <p>また、2020 年大会までの残り期間を踏まえ、引き続き障害者アスリートの競技力向上に努める。</p>		
問い合わせ先	オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部調整課	電話	(東京都障害者スポーツセンター及び東京都多摩障害者スポーツセンターの改修に関すること) 03-5320-7802
	オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部障害者スポーツ課	電話	03-5320-7729
	オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部調整課	電話	03-5388-2218